# 神調報

shin cyo hou

2023
増刊号

2023 No.438

土地家屋調査士

ひと・とち・みらい　はーもにー

神奈川県土地家屋調査士会
https://kanagawa-chousashi.or.jp

土地家屋調査士倫理綱領

1．使 命

不動産に係る権利の明確化を期し，国民の信頼に応える。

2．公 正

品位を保持し，公正な立場で誠実に業務を行う。

3．研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

# 目　　次


| | |
|---|---|
| 会長・副会長就任挨拶 | 1 |
| 部長就任挨拶 | 3 |
| 政治連盟会長 就任挨拶 | 5 |
| 令和5年度 事業計画 | 6 |
| 新役員一覧表、新支部長一覧表 | 8 |
| 新支部長就任挨拶 | 9 |
| 新入会員・退会会員一覧 | 13 |
| 編集後記 | 16 |
| 会員異動 | 18 |


## 表紙

『第84回定時総会』

写真 金子　力也、 文 稲葉　健太郎

令和５年５月25日（木曜日）横浜市中区のロイヤルホールヨコハマにて神奈川県土地家屋調査士会の第84回定時総会が開催されました。

今回の定時総会は新型コロナウイルス感染症の収束、感染症の分類も５類に移行されたことで特別な対策を講ずる事もなく行われました。

役員改選期を迎え、また、会則の変更などもあり通常の総会よりも多くの議事がありましたが、おおむね滞りなく進行されました。再任された大竹会長から神奈川会をより発展させていく決意に満ちたあいさつに続き、新しい役員および綱紀委員も選任されました。

多くの来賓にご臨席いただき、横浜地方法務局長をはじめ時間の許す限りご祝辞をいただきました。われわれ土地家屋調査士が登記行政、ひいては不動産という国民の財産の保護にいかに資しているかあらためて激励をいただきました。

# 会長の挨拶

神奈川県土地家屋調査士会　会長 大竹　正晃

大暑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は神奈川県土地家屋調査士会の会務運営につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

本年５月25日に開催されました神奈川県土地家屋調査士会第84回定時総会において、会長に再任いただきました、川崎支部の大竹正晃です。どうぞよろしくお願い致します。

本年５月８日に新型コロナウイルスの５類感染症への移行に伴い、世の中がようやく落ち着いて元の生活を取り戻しつつあります。我々土地家屋調査士を取り巻く環境については、所有者不明土地問題をきっかけに民法や土地基本法等が次々に改正され、相続土地国庫帰属制度・新しい不動産の管理人制度･相続登記の義務化･登記名義人の死亡等の事実の公示制度及び登記名義人の住所変更登記の義務化等、大きな変化の渦中にあることは間違いありません。これらの変化の中で、不動産の表示に関する登記、土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、土地家屋調査士が国民から必要とされる資格者であることを理解されるように努力し続けなければならないと考えております。

本年度は、基本三角点等を使用した測量が求められていることを私たち自身が理解し、安易な任意座標による測量を行わないことを目指し、改めて基準点測量・GNSS測量について研修会を実施致します。測量技術は日々進歩し、ドローンや地上型３Ｄスキャナーによる測量を導入されている会員も多くなってまいりました。より効率的な業務処理について情報提供を行います。

本会ホームページ等を利用した情報発信を実施していきますので、会員におかれましてもパソコン等の環境整備を進めていただきたく思います。また、オンライン申請については、より利便性の向上がされたことにより、更なる効率的な業務処理に繋がることと確信しておりますことから、本会としてオンライン申請の推進をしていきたいと考えております。

また、適正な報酬額算出のために報酬額算定参考資料が更新されました。自らの報酬額が正しく算出されているか、今一度確認していただきたく思います。土地家屋調査士会員が、正しい業務を行い、正当な報酬を得ることができる。これこそが直面している様々な諸問題を解決し、土地家屋調査士の未来につながることであると信じて、会務を行ってまいります。

# 副会長の挨拶

副会長　小笠原　裕

第84回定時総会において大竹正晃会長に副会長の指名を受け、業務部と研修部を担当することになりました横浜南支部の小笠原です。

２年間、業務部と広報部担当として活動してまいりました。昨年は、感染対策を行い業務部・広報部とも以前と同様な活動が出来たのではと思います。

さて、昨年４月に筆界確認情報の取扱に関する指針が発出され、それに伴い横浜地方法務局の土地建物実地調査要領も９月に改訂されました。また、民法等の改正も行われ法改正が相次いでおります。会員の皆様が業務を円滑に処理できるよう横浜地方法務局・日調連及び各行政との連携・情報交換等を行い、研修会等により速やかに周知・情報提供出来るよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

副会長　西田　貴麿

前期から引き続き副会長の任につくこととなりました。会長を支え、ひいては会員の皆様のより良い業務環境を調えるべく努めますので、よろしくお願いいたします。

次から次へと関連法規が変わっていき、目まぐるしくそれに対応していかなければならないのは事実。置いていかれてなるものか、と皆様も日々精進されていることと思います。

ただ、私たち土地家屋調査士には変わらぬものもある。その魂のようなものを守っていければ、ＡＩ何するものぞ、なにも恐れることはありません。その魂を、土地家屋調査士全員が業務に込めれば、私たちの仕事がなくなることはありません。みんなで魂を見つけましょう。

副会長　竹前　信行

この度、令和５年５月25日の第84回定時総会に於いて、副会長に選任いただきました湘南第二支部の竹前信行です。引き続き、大竹会長を補佐して真面目な会員の皆様のために会務に励んでまいります。

昨今、法人の名を借りた名義貸しが増えています。従たる事務所に社員調査士を雇い、業務は測量部隊が全て行う、その調査士が懲戒等を受けそうになると、従たる事務所を閉鎖するという手口です。その様な違法行為に加担しないようにお気を付けください。

我々は、土地家屋調査士法並びに、会則を遵守しなければなりません。そのうえで不動産登記法に則り業務を行うことで、報酬を頂くことが出来ます。違法行為で得たお金で家族を養うような土地家屋調査士が一人もいない、国民から信頼される資格者集団でありたいと願っています。

# 部長の挨拶

**総務部長　深瀬　光正**

第84回定時総会後の理事会において総務部長を拝命いたしました川崎支部の深瀬光正と申します。

本会理事として総務部で１期２年の経験をし、丸山前総務部長の後任として引き継ぐこととなり責任の重さに身の引き締まる思いを感じております。

私も登録して22年、この業務に携わり、いろいろな人と出会い、また家庭も持つことができました。ここまでお世話になった上、各先輩方が長年にわたり引き継いできた神奈川県土地家屋調査士会に微力ながらお役に立つことができればとの思いもあり、この度お引き受けをいたしました。

会務においては気概をもって前向きに努力を怠らないよう精一杯努めてまいります。
役員また会員の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

**財務部長　髙橋　眞人**

前期に引き続き３期目の財務部長を務めさせていただく湘南第二支部の髙橋です。

会員の皆様ご存じのとおり神奈川会の会員登録数が10年前に比べ約100人減少しております。財務部として引き続き支出の効率化と管理を進めていく所存ではありますが、今迄と同じ事業の継続が今後難しくなっていく事が懸念されます。安定した会務運営を進める為に会員数の減少を抑えるべく、土地家屋調査士の地位向上、後継者育成問題、我々土地家屋調査士を取り巻く環境の整備など課題は山積みであります。一朝一夕には解決しませんので各部連携をとり更なる推進力を持って取り組んでいく事が必要です。幸いなことに会長以下、理事一同一枚岩であるので期待していただいて差し支えありません。

私自身、今までどおり地味に会務運営に携わり会の発展に寄与できたらと思っております。前述のとおり3期目になりますが就任当初にお伝えした、会員の皆様のお役に立つことができれば、という気持ちは今も変わりありません。まだまだ未熟者でありますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

**業務部長　石垣　博**

前期に引き続き業務部長を仰せつかりました、湘南第一支部の石垣博と申します。

業務部の役割として会員の皆様方に対し、業務における重要な情報、通達、事務連絡等を速やかに周知しております。また、登記事務が円滑になるよう法務局との協議及び調整等を日頃より行っております。前期の反省として、周知に対

して「徹底」が足りなく思いましたので、今期は徹底していく所存でございます。

今期はより一層会員の皆様のお役に立てるよう努めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

**広報部長　小田　靖**

この度、第84回定時総会後の理事会において広報部長を拝命いたしました、県西支部の小田靖です。

理事としては２年休んで出戻り４期目となります。また、広報部長としても出戻り３期目となります。２年の休みを経て、再度拝命していただいたからには、全力で会務に励んでいく所存です。

広報部としましては、国民に土地家屋調査士という資格制度を広く認知されるよう活動していきます。神奈川県土地家屋調査士政治連盟、空家等対策特別委員会の役員及び委員各位に協力していただき、また、広報部として出来うる限り協力し、総会にて承認された事業計画が達成できるよう活動してまいります。

会員各位におかれましても協力してもらう事が多々あるかと思いますが２年間、どうぞよろしくお願いいたします。

**研修部長　小川　城雄**

前期に引き続き研修部長を務めさせていただくことになりました横浜中支部の小川城雄です。

前期の当初は不安でしかありませんでしたが、役員のみなさん、事務局職員のみなさんに支えられ任期を終えることが出来ました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

土地家屋調査士法第２条には『調査士は、常に品位を保持し、業務に関する法令及び実務に精通して、公正かつ誠実に業務を行わなければならない』と規定されております。常に品位を保持するためには土地家屋調査士倫理規程を遵守しなければなりません。それらを学ぶために年次研修会は大切であると考えます。
会員の方におかれましては研修会には出席いただきますようお願いいたします。

最後に、日々の業務に尽力されている会員のみなさまのために、会務活動に取組みますので、どうぞよろしくお願いいたします。

# 政治連盟会長就任の挨拶

神奈川県土地家屋調査士政治連盟　会長　上田　尚彦

この度、第23回定時大会におきまして、前期に引き続き政治連盟会長に就任させていただくことになりました。

会員の皆様には日頃から政治連盟の諸活動にご理解とご協力を賜わりまして誠にありがとうございます。特に令和５年１月に開催されました「賀詞交歓会」におきまして、国会議員、県議会議員、各市町村議会議員から200名を超える参加申し込みがあり、国会議員本人も多数参加されて大いに盛り上がりました。会員の皆様のお力の賜物と有難くお礼申し上げます。

土地家屋調査士の環境はこの１年で大きくかわりました。

①令和４年11月21日自由民主党本部におきまして「自由民主党土地家屋調査士制度改革議員連盟（会長根本匠衆議院議員）」が開催されました。

イ、国土交通省市街地建築課長より、「狭あい道路拡幅ガイドライン」を作成するとの回答を得ました。

ロ、土地家屋調査士業務は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）の適応対象になり得るとの見解が示されました。発注においては最低制限価格の導入が必要との見解が示されました。

ハ、公共嘱託登記土地家屋調査士協会の業務範囲を示す不動産登記法第64条改正に向けて検討を行う旨、法務省民事局長から回答を得ました。

②所有者不明土地関連法として、民法等の一部改正と相続土地国庫帰属法が制定され、財産管理制度、共有制度、相隣関係、相続制度の各見直しが令和５年４月１日に施行。相続土地国庫帰属制度が令和５年４月27日施行されました。どれも土地家屋調査士に関連する制度です。

③空き家等対策特別措置法改正案が可決されました。

所有者の責務強化、空き家等活用促進区域の設置、管理不全空き家の制度、予防・利活用に関する筆界の措置の支援制度等、土地家屋調査士政治連盟が提案した付帯決議案が採用されました。

④令和５年５月15日参議院決算委員会におきまして、地籍調査における筆界確定を推進するために事業者が法務局および土地家屋調査士と連携すべしとの質疑応答が行われました。

どれも、土地家屋調査士への期待は益々高まってきていると思います。

予算・政策要望ヒアリングに関しまして、その席におられる議員のみなさんの土地家屋調査士に向けられるまなざしや協議内容が毎年毎年温かさを増して来ていると感じられるようになりました。われわれ政治連盟の要望を実現してもらえる土壌はかなり育成されてきたと実感しております。

今期は、衆議院議員総選挙も行われそうな状況です。土地家屋調査士制度をご理解いただいて、土地家屋調査士のために日々汗をかいていただいている現職の議員並びに候補者に対しての選挙対策活動も積極的に行います。

本会、支部と連携した政治連盟の活動を通じて、土地家屋調査士に発注されるべき業務が適切に受注できる機会が増えることと考えております。政策提案や選挙関連もそれに向けた活動の一環です。

そして、10年20年後も土地家屋調査士同士がおいしいお酒を飲みあえるように、また多くの方々が「土地家屋調査士試験を受験したい」と思っていただけるように活動して参ります。

# 令和5年度事業計画

令和5年を迎え、相変わらずウィズコロナ時代ではありますが本会事業は積極的に計画・実施していかなければなりません。

土地家屋調査士を取り巻く状況は、日本土地家屋調査士業務取扱要領の運用が始まり、民法・不動産登記法の一部改正及び相続土地国庫帰属法の施行に伴う各種対応が求められております。従来の財産管理制度が見直され、「所有者不明土地・建物管理制度」・「管理不全土地・建物管理制度」が創設され、特定の土地・建物に特化した管理人を置くことが可能となります。この管理人に土地家屋調査士が選任される事例も考えられることから、より一層知識の向上に努める必要が求められ、各種研修に積極的な参加をしなければなりません。また、不動産登記規則には、基本三角点等を使用した測量を求められておりますが、地域によって未だに任意座標による測量が行われております。連合会よりネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアルが通知され、より積極的な基本三角点等の使用が求められております。これらを踏まえて、本年度の事業計画を作成いたしました。

本年度は引き続き、WEB 等を利用した会議や研修会の実施と、感染対策を配慮しつつ、安定した会務運営が行えるよう事業の体制の充実に努めます。

総務部においては、円滑な会務運営と会員に対する注意及び指導を行います。また、法改正や各種制度の変更に伴う対応を速やかに行います。

財務部においては、引き続き本会財政状況の安定の為に将来への備えを行い、各種の積立を充実させるべく、より効率的な予算執行を行います。

業務部においては、調査士業務が円滑に処理できるよう、横浜地方法務局や日調連及び各行政との情報交換等に努め、会員各位に速やかに伝達することを事業の中心といたします。引き続き円滑な登記事務処理のためにオンライン申請の推進を行います。また、過去に周知された通知等を整理し、特に重要な通知等については改めて会員への周知に努めます。本会ホームページの閲覧等、本会が発信する情報に注意いただき、今後一層のホームページの利用促進に御協力をお願いいたします。

広報部においては、予算状況を考慮しながら、より効率的な広報活動を行います。

研修部においては、年次研修、その他会員研修等を実施し、対面での研修・屋外で実施する研修・WEB 等を利用した研修等、研修内容に合わせた実施方法で行います。

「境界問題相談センターかながわ」の運営については、これまで同様、本会が一定額の経費負担をしたうえで弁護士会と協力し、運営委員会を中心に事業を継続運営いたします。

最後に、土地家屋調査士制度の維持発展のためには、すべての調査士が、業務処理に対する高い意識と責任感を持つことにより、依頼者に対する信頼関係の構築、国民に対する知名度の向

上、更には新たに調査士を目指す若い年代の育成に繋がると考えております。そのためにも会員皆様の御協力をお願いしながら事業の執行に努めたいと考えます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

総務部

１．会務運営の効率化
２．会員の執務指導
３．法務局及び他調査士会、関係団体等との連携
４．法改正・会則・諸規則等の整備に関する対応

財務部

１．入会金及び会費の徴収並びに支出の効率化と管理
２．支部源泉徴収業務の対応
３．会館設備の整備及び今後の修繕計画の検討
４．福利厚生事業の実施

業務部

１．調査士業務に関する指導及び連絡
２．適正なる業務処理の推進
３．土地家屋調査士業務に関する資料の収集及び公開

広報部

１．災害時協力協定、空家等対策への取組を活用した制度広報活動
２．行政機関等での動画広告、無料動画配信など効果的な制度広報活動の実施
３．ホームページの内容の拡充とホームページを利用した広報活動、会報誌の発行
４．無料登記相談会の実施

研修部

１．年次研修の実施
２．会員研修、新入会員研修の実施
３．研修に関する情報収集と研究

## 新役員一覧表

| 役員名 | 担務 | 氏名 | 所属支部 | 役員名 | 担務 | 氏名 | 所属支部 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 会長 | | 大竹　正晃 | 川崎支部 | 理事 | 財務 | 旭　啓吾 | 横浜北支部 |
| 副会長 | 業務・研修 | 小笠原　裕 | 横浜南支部 | 理事 | 業務 | 太田　雅人 | 川崎支部 |
| 副会長 | 総務・財務・センター | 西田　貴麿 | 横浜東支部 | 理事 | 業務 | 河　光成 | 横浜東支部 |
| 副会長 | 広報 | 竹前　信行 | 湘南第二支部 | 理事 | 業務 | 菅野　光 | 湘南第一支部 |
| 常任理事 | 総務 | 深瀬　光正 | 川崎支部 | 理事 | 広報 | 稲葉健太郎 | 相模原支部 |
| 常任理事 | 財務 | 髙橋　眞人 | 湘南第二支部 | 理事 | 広報 | 花上　康一 | 県央支部 |
| 常任理事 | 業務 | 石垣　博 | 湘南第一支部 | 理事 | 研修 | 中村　拓司 | 川崎支部 |
| 常任理事 | 広報 | 小田　靖 | 県西支部 | 理事 | 研修 | 町田　昌吾 | 横浜南支部 |
| 常任理事 | 研修 | 小川　城雄 | 横浜中支部 | 理事 | 研修 | 登　英夫 | 大和支部 |
| 理事 | 総務 | 榎本　一成 | 横須賀支部 | 監事 | | 伊東　昌彦 | 横浜南支部 |
| 理事 | 総務 | 金子　力也 | 横浜中支部 | 監事 | | 渡部　清一 | 川崎支部 |
| 理事 | 総務 | 山本　義和 | 横須賀支部 | 監事 | | 力石　髙志 | 県西支部 |
| 理事 | 総務 | 堀井　清行 | 相模原支部 | | | | |

## 新支部長一覧表

| 役員名 | 所属支部 | 氏名 |
|---|---|---|
| 支部長 | 横浜中支部 | 神谷　誠 |
| 支部長 | 横浜南支部 | 細川　英史 |
| 支部長 | 横浜東支部 | 西　剛志 |
| 支部長 | 横浜北支部 | 篠原　収 |
| 支部長 | 川崎支部 | 桑原　泰 |
| 支部長 | 横須賀支部 | 佐々木重信 |
| 支部長 | 湘南第一支部 | 原　和則 |
| 支部長 | 湘南第二支部 | 大塚　和博 |
| 支部長 | 相模原支部 | 加藤　照士 |
| 支部長 | 県央支部 | 露木　文子 |
| 支部長 | 大和支部 | 門田　哲生 |
| 支部長 | 県西支部 | 山口　宏幸 |

# 支部長からの挨拶

**横浜中支部長　神谷　誠**

この度横浜中支部の支部長を拝命いたしました、神谷と申します。

前任の地野支部長と支部役員の方々には支部活動を盛り上げていただき、その功績に感謝する一方、歴史ある横浜中支部の支部長という大役が自分みたいな人間に務まるか、不安なところではあります。支部活動は１人の力で成り立つものではなく、支部会員の皆様と取り組むものであると考えておりますので、支部会員の皆様のご意見、ご要望を伺いながら支部役員の方々の力をお借りして、精一杯取り組む所存です。至らぬ点もあるかと存じますが、２年間何卒宜しくお願いいたします。

**横浜南支部長　細川　英史**

この度、横浜南支部長に就任いたしました、細川と申します。

支部では、班長、総務、副支部長を皆様のご協力の下、務めさせていただきました。

南支部では、歴代の諸先輩の真摯で真っすぐな姿勢と教えられる熱い土地家屋調査士魂が存在しており、これを後輩が受け継ぐことが重要と推測します。

近年は、大雨による災害や、大規模地震等予測のつかない時代です。神奈川県災害連絡網から南支部の災害連絡網を充実し、身の安全・安心を連絡確保すると共に、地域の行政担当と連絡を強化し、防災など頼れる地域の土地家屋調査士として務めてまいりたいと思っております。役員の方々と共に、土地家屋調査士として将来あるべき姿を模索しながら、会務を務めてまいりたいと考えております。

何卒、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

**横浜東支部長　西　剛志**

この度、横浜東支部第27回定時総会におきまして、河支部長の後任として支部長に就任いたしました西剛志と申します。入会直後から、長らく支部幹事、副支部長を務めさせていただきましたが、今回支部長ということで大変な責任の重さを痛感しております。

支部は、本会及び他の支部との連絡を密にし、当該支部に所属する会員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的としていますが、それ以上に支部会員のコミュニケーションの場を作ることが重要だと考えます。今まで以上に新入会員も参加しやすい明るく風通しの良い支部を目指して参る所存です。

どこまで出来るか分かりませんが、精一杯努めさせていただきますので、支部会員皆様におかれましては、諸事情あることとは思います

が、各種支部行事への積極的な参加をお願いします。

それでは、２年間どうぞよろしくお願い致します。

**横浜北支部長　篠原 収**

この度、横浜北支部の支部長に就任いたしました篠原収と申します。

平成17年に入会し、その年の支部総会に出席したところ、会場にて支部幹事に任命され、早18年。支部幹事を６年、副支部長を12年務めさせていただきました。

土地家屋調査士の仕事を始めたのが平成16年からであり、実務経験もなく右も左もわからないながらも支部行事等に出席し、諸先輩方との話しの中で色々と勉強させていただきました。コロナ禍であったこともあり、なかなか支部行事に参加し辛かったと思いますが、今後は支部会員の皆様が多く出席していただけるような行事等を支部役員の方と力を合わせながら企画していきたいと思います。

微力ではありますが支部長職を精一杯こなしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

**川崎支部長　桑原　泰**

この度、川崎支部長に就任いたしました桑原泰と申します。

私自身は土地家屋調査士に登録して18年になります。開業当初は川崎支部の会員を誰一人知らず、積極的に行事に参加して少しずつ人脈を広げていきました。当時の支部長から、お声をかけていただいたことを今でも大変感謝しております。

川崎支部は68年の歴史と伝統があります。私自身は出身が大阪でありますので、今回は私より川崎支部の歴史や伝統を熟知されている方に副支部長を引き受けていただきました。また、優秀な役員の方々のサポートも大きな力となります。支部長である私は本会と川崎支部をつなげ、副支部長は川崎支部の会員同士をつなげて、今後もより良い支部の運営を目指していければと思います。

２年間、よろしくお願い申し上げます。

**横須賀支部長　佐々木重信**

この度、三橋前支部長の後任として支部長に就任した佐々木重信です。

就任したものの「自分が支部長で大丈夫か？」というのが正直な気持ちです。

これまで横須賀支部の支部長を務めてこられた先輩方のあとに続くには、適性・能力ともに全く足りず不安でいっぱいです。

ですが同時に、こんな自分の呼びかけに快く応じてくださった新役員の皆さまと力を合わせて支部活動に取り組むことが楽しみでもあります。

この際、気負わず「誰にでもできる」支部長を、そして「気軽に参加できる」横須賀支部をめざ

すとともに、支部内外のたくさんの方々との交流も深めていきたいと思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

**湘南第一支部長　原　和則**

湘南第一支部　支部長として２期目を迎えた原と申します。

私は、令和３年度のスローガン「調査士プライド　～未来の土地家屋調査士の笑顔～」のもと、船出をさせていただきました。あれから２年が過ぎ新型コロナウイルスの影響により思うような活動は出来ませんでしたが、土地家屋調査士について考えるという時間をいただきました。

そこで至った考えは

会員皆様の名前に必ず冠記されている「土地家屋調査士」という屋号は借り物であるという事、そして伝統や文化を継承しつつ「土地家屋調査士」という屋号を、日本人の美徳である、借りた時より綺麗にして返納するという意識を持ち、調査士愛に溢れた、魅力溢れる調査士になる為に、会員一人一人が、広告塔であるという自覚を持つ事が大切である。

という事です。

「只測」なんて言葉が調査士界を彷徨う世の中に希望はありません。

唯一無二の仕事をしているというプライドを胸に秘め、胸躍らせる事の出来る、未来の土地家屋調査士にバトンをつなぐ為に、今年度はアフターコロナという時代を迎え、うっ憤晴らすべく支部活動に邁進する所存です。

ウイスキーのロックを口にしながら、したためるこの文章に嘘、偽りはありません。

愚にもつかない私ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

**湘南第二支部長　大塚　和博**

今期が支部長２期目となります湘南第二支部の大塚です。２年前に支部長に就任して以来、通常の仕事をやりながらの支部の研修会や役員会議、そして広報活動等と大変忙しい毎日でした。支部長としての段取りが悪く、不手際によって支部会員の皆様や支部役員の方々に大変ご迷惑をお掛けしました。大変申し訳無く思っております。そして再度の支部長の役目をお引き受けしたからには、最後まで責任を果たしてゆく覚悟です。

この２年間の支部長としての仕事は、不慣れなせいもあって大変苦労しました。歴代の支部長の方々が、通常の調査士業務をやりながらこのような支部運営業務をしてきたのかと思うと頭が下がります。これから２年間、また同じような苦労が続くかと思うと少し気が滅入ってしまいますが、今期は大体の流れは理解出来ておりますし、若い方々とも少しずつコミュニケーションがとれてきているので、少しだけ自分自身に期待しております。

これからの２年間を私の土地家屋調査士としての最終章と捉え、良き思い出となるよう努力してまいりますので、どうかよろしくお願い申

し上げます。

**相模原支部長　加藤　照士**

この度、相模原支部の支部長に就任しました加藤です。２年間よろしくお願い致します。まさか私が支部長に就くとは思いもしませんでしたが、相模原支部長の名に恥じぬよう頑張りたいと思います。

私の現在の趣味は、一人旅、ダンスです。基本体を動かし汗を流すのが好きですね。

30年間の経験を活かし支部に新しい風を吹かせることが、出来たらいいなと考えております。また、同時に本会役員、他支部の支部長とも協力しあい、楽しく元気な神奈川会の力にもなれるよう頑張りたいと思います。

**県央支部長　露木　文子**

この度、県央支部の支部長を務めさせていただきます露木文子です。

調査士会に入会して９年目のまだまだ未熟で至らぬ若輩者が支部長という大役にプレッシャーを感じており身が引き締まる思いです。

コロナが第５類に変更され少しずつ日常が戻り、対面での活動がしやすくなってきてはおりますが、気を緩め過ぎずバランスの良い事業活動と交流を進めて参りたいと思っております。女性からも土地家屋調査士が魅力のある仕事と思ってもらえる様に、明るく笑顔で精一杯務めさせていただきます。

そして、支部の皆様と一緒に県央支部を盛り上げていきたいと思います。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

**大和支部長　門田　哲生**

この度大和支部の支部長に就任致しました門田哲生と申します。

私が開業した平成13年は同時多発テロ事件のあった年で世界情勢が殺伐としたものにシフトしていった年とも云えるかもしれません。

だからとは云いませんが開業した頃は仕事が潤沢にあった訳ではなく、慣れない営業回りなどを行ったりしたものでありました。

現在は開業時に比較すれば仕事は頂けていますが、お客様のご期待に沿う業務を行うには、相当な努力と熟練を要する事に今更ながら気づいた微力な人間です。

大和支部は昭和48年に設立し、今年51年目に入りました。大きな節目に支部長を仰せつかった訳でありますが、支部の皆さんが強い気概を持って仕事に打ち込めるよう、微力ながらお役にたてればと思います。

よろしくお願い致します。

**県西支部長　山口　宏幸**

県西支部総会において支部長を拝命いたしました山口宏幸です。

開業当初は、支部長を引き受けるのは遠い将来のことだと思っていましたが、気付けば18年経っており身が引き締まる思いで、この度支部長を拝命させていただきました。

出前授業や支部研修、支部旅行等の支部行事に参加して参りましたが、いざ自分が支部長となると歴代の支部長と同じようにできるのだろうかと不安に思う事が多々あります。

県西支部は会員同士仲が良い雰囲気があるので、先輩方が作り上げてきた伝統を守りながら、支部長職を精一杯取り組んでいくつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。

# 新入会員紹介

**（R5.1.10入会～）**

大和支部
登録番号　3201
ナカムラ　カズヤ
**中村　和也**

横浜南支部
登録番号　3204
フジモト　コウジ
**藤本　考司**

横浜東支部
登録番号　3202
ツツイ　ツバサ
**筒井　翼**

横須賀支部
登録番号　3205
シマモリ　マサカズ
**島森　正和**

横浜中支部
登録番号　3203
オオヤ　セイコ
**大屋　征子**

相模原支部
登録番号　3206
タグチ　リョウ
**田口　椋**

横浜中支部
登録番号　3207
ミヤジマ　ユウキ
**宮島　勇来**

川崎支部
登録番号　3208
オオコウチ　サトル
**大髙知　聖**

湘南第一支部
登録番号　3209
タサカ　ユウキ
**田坂　裕樹**

横浜中支部
登録番号　3210
キムラ　カズモト
**木村　一元**

横浜中支部
登録番号　3211
タケバヤシ　トシヤ
**竹林　俊哉**

横浜中支部
登録番号　3212
トガシ　セナ
**富樫　星七**

横浜中支部
登録番号　3213
ササキ　コウタ
**佐々木　広太**

横浜中支部
登録番号　3214
コジマ　ユタカ
**小島　裕**

横浜中支部
登録番号　3215
オサダ　アントユウタ
**長田　アント悠太**

横浜東支部
登録番号　3216
ハシモト　ケンタロウ
**橋本　健太郎**

横浜東支部
登録番号　3217
マエカワ　リョウスケ
**前川　怜介**

## 退会会員一覧（R4.12.21 退会～）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 横浜南支部 | 1287 | 飯島　章介 | R04.12.21 | 業務廃止 |
| 相模原支部 | 2103 | 小林　忠志 | R04.12.21 | 業務廃止 |
| 横浜南支部 | 1953 | 片桐　多摩夫 | R05.01.11 | 死亡退会 |
| 横須賀支部 | 1621 | 高橋　利次 | R05.01.24 | 死亡退会 |
| 湘南第二支部 | 3101 | 小濵　吉弘 | R05.01.24 | 死亡退会 |
| 湘南第一支部 | 1312 | 高木　四浪 | R05.02.02 | 死亡退会 |
| 横浜東支部 | 1870 | 赤松　忠 | R05.03.20 | 業務廃止 |
| 横浜中支部 | 2152 | 小菅　芳輔 | R05.04.14 | 業務廃止 |
| 県西支部 | 2746 | 片瀬　儀龍 | R05.05.09 | 死亡退会 |
| 横浜北支部 | 2677 | 森　隆雄 | R05.05.16 | 会費滞納 |
| 横浜北支部 | 3165 | 末永　則雄 | R05.05.22 | 他会転出（東京会） |
| 湘南第一支部 | 1362 | 後藤　日吉 | R05.05.30 | 業務廃止 |
| 湘南第一支部 | 1719 | 小杉　進 | R05.05.31 | 業務廃止 |
| 湘南第一支部 | 1437 | 尾上　英雄 | R05.06.21 | 業務廃止 |
| 相模原支部 | 2426 | 金子　達子 | R05.06.30 | 業務廃止 |
| 湘南第二支部 | 2652 | 市川　秀明 | R05.06.30 | 業務廃止 |

# 編集後記

神調報を楽しみにしている会員の皆様、今号の記事はいかがでしたでしょうか。改選期の増刊号は、新役員並びに新支部長の就任挨拶が掲載されています。これからの２年間にかける思いが少しでも伝わったら幸いです。

私事ではありますが、新型コロナウイルス感染症が５類に移行されたことによって、趣味で行っているトライアスロンの大会が以前のように開催されるようになってきました。レースという目標（というよりもレース後の乾杯）があれば、日々のトレーニングにもやる気スイッチが入ります。

適度な運動は身心ともに良い効果があります、身体が資本である土地家屋調査士の皆様も、少しずつでいいのでウォーキングから始めてはいかがでしょうか。

（竹前　信行）

２年の休みを経てひさしぶりに編集後記を書いております。年月の流れの速さを最近ひしひしと感じております。最初に広報部長を拝命した折、産まれた一番下の娘が来年、小学生。30代後半だった自分もすでに40代半ば。最近では各地で祭りが再開され、神輿を担いでは酒を飲む。そんな生活も再開しているのですが体力の衰えを実感している次第です。これからは無理をせず飲酒量を減らしながら楽しんでいこうと考えております。ま、実際減らせるかどうかは分かりませんが（笑）

（小田　靖）

先日の定時総会お疲れ様でした。ここ２～３年の集まりでは消毒・マスクなどの対策を行った上で開催しましたが、５類感染症に移行されたことで何となく一息ついた様に感じます。今年で50歳になります。新たな決意を示すことなどはしないですが、60歳まで健康で仕事を続けて行けたら良いと思っています。

（稲葉　健太郎）

本年度より、理事として広報部に所属することとなりました県央支部の花上康一です。

私は以前、広報部所属の制度対策特別委員会にて数年間、本会の広報活動に携わらせていただきました。その時の経験を活かし、土地家屋調査士の知名度アップに繋がる活動ができればと考えています。今年度の広報部メンバーは、前々期の部長と前期の部長がいますので、いろいろと教えていただきながら、理事として微力ではありますが務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

（花上　康一）

| | | |
|---|---|---|
| 広報担当副会長 | 竹前信行 | |
| 広報部長 | 小田靖 | |
| 広報部次長 | 稲葉健太郎 | |
| 広報部理事 | 花上康一 | |
| 支部広報員 | 菅原大悟 | 久保田紘二 |
| | 畠山主 | 橋本健 |
| | 武藤健仁 | 稲葉健太郎 |
| | 土屋勝喬 | 磯村康行 |
| | 近藤和吉 | 菅野貴史 |
| | 栗原隼人 | 山口亮 |



発行　神奈川県土地家屋調査士会
横浜市西区楠町18番地
TEL（045）312-1177㈹
FAX（045）312-1277
E-mail
info@kanagawa-chousashi.or.jp

発行者　神奈川県土地家屋調査士会
会長　大竹正晃

印刷所　株式会社コンパス
厚木市小野603-1
TEL（046）250-1005